

平成29年度 重要文化財（建造物）上杉謙信霊屋保存修理

屋根檜皮葺き替え見学会

1日限定

【日 時】 平成29年10月7日（土） 雨天決行
但し、荒天の場合は中止。

※問い合わせは高野山霊宝館まで

【見学時間】 第1回目 10時～12時

第2回目 13時～15時

※①10時 ②13時の2回

（公財）和歌山県文化財センターの結城啓司氏による解説があります。所要時間は約30分程度。

【集合場所】 現地集合（上杉謙信霊屋）

【参加費】 参加費無料 ※事前申込不要

※工事現場における見学となるため、動きやすい服装、滑りにくいお履き物でお越し下さい。なお、ヒール、ミュール等での見学はご遠慮下さい。



檜皮葺きイメージ



現在、上杉謙信霊屋は平成29年6月1日から平成30年3月31日まで10箇月をかけて、保存修理工事を実施しております。

今回の工事は、前回の平成7年から22年ぶりの檜皮屋根葺き替えとなります。

「檜皮葺き（ひわだぶき）」とは、檜の皮を加工した材料を、竹釘を使って打ちとめていく工法です。檜皮葺きの言葉は知っていても、実際どうやって葺くのかご存知の方は少ないのではないのでしょうか。

見学会では、実際に檜皮を葺き替える作業を間近に見ながら、日本の伝統的な工法とそれを支える技術、リズムカルに竹釘を打ち止める職人技を体感していただけます。この機会に、是非ご参加ください。



◆問い合わせ◆

〒648-0211 和歌山県伊都郡高野町高野山 306

（公財）高野山文化財保存会 高野山霊宝館

☎ 0736-56-2029 fax 0736-56-2806

mail:reihokan@koyasan.or.jp

上杉謙信霊屋 昭和40年5月29日指定 重要文化財 清浄心院

【指定説明】

この霊屋は奥之院への参道沿いにあり、上杉謙信の霊を祀る。建立年代は明らかではないが、様式手法よりみて、江戸時代初期の造営と推定される。桁行三間、梁間二間、入母屋造で正面に一間の向拝を付す。面取角柱で、正面のみ縁を付す正面中央間に棧唐戸を開き、脇間は連子窓、側面と背面は板壁である。内部は一室の床張りとし、中央後方寄りに位牌壇を安置する。天井は長押を二段に構え格天井とする。組物は出三斗、正面中央間は臺股、側面と背面中央間は間斗束とする。軒は二軒で妻は木連格子である。意匠は全体に控え目であるが、内外ともに極彩色が施され、特に内部は壁面にも彩画がある。

高野山にある各藩の霊廟の内では比較的古く、近世の経営規模を示す資料である。

【建立の沿革及び修理の経過】

霊屋の創建は、詳らかではない。

謙信は、天正6年（1578）3月13日に死亡している。『高野山文書』の天正7年の頃に「謙信廟前にて晝夜の勤業（後略）」とあるので、この頃には何らかの廟舎が造られていたと思われる。

また、現在合祀されている謙信の子景勝は、元和9年（1623）に亡くなり、謙信廟の東隣に廟舎が建てられていたことが『紀伊続風土記』の付図によってわかる。つまり、『紀伊続風土記』の著された天保年間（1830～1844）までは、2棟が並列して建っていたと考えられる。

その後まもなく合祀した際に、修理と共に塗装も塗り直されている。以後、明治に部分的な修理が施され、昭和になって檜皮屋根が銅板葺き（一部鉄板葺きの部分もあった）に変更された。

昭和40年に台風の被害により、解体修理が国庫補助事業により執行され、本来の檜皮葺きに復した。その後、平成7年に屋根葺替工事が実施された。